

***Japan Craft*** Occlusion and material, graphics for dental clinicians

匠

- dexterous -

VOL.16

PRODUCED BY SHIGEMURA HIROSHI  
(JAPAN PROSTHETIC DENTAL LABORATORY/OSAKA, JAPAN)



匠

-denton-



*Statics and Dynamic*



**GOLD** OCCLUSAL SURFACE OF UPPER AND LOWER FIRST MOLAR



**Porcelain Fusing Abutment**

**GOLD Abutment**

**Titanium Abutment**

CUSTOM  
IMPLANT ABUTMENT  
BY FREE-HAND MILLING

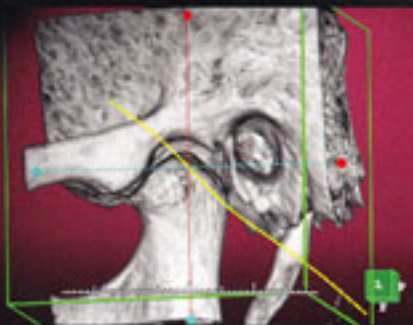


dentium



# *3D-CT Generation*

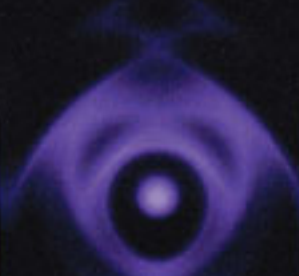
*Virtual Planning for Occlusion and Implants*





# INTER LOCK

APPLIANCE FOR CORRECTING DIFFERENT ANGLE OF  
RECIPROCAL ABUTMENT TOOTH



## DUAL POST

複数の支台歯の着脱方向に平行性がない場合に用いる装置で、Key and Key wayとも呼ばれる。通常は一本のポストで切り替えるが、長期的には容認できない緩みが発生する。そのため、2本のポストを用いて連結する。

In situation where the abutment teeth are not parallel to each other, we use a system called "Key and Keyway" which normally uses a single post however, if unacceptable slackness occurs over time, we can modify the system to use 2 posts. This modification is known as "Dual Post".

## DUAL POST & SCREW

支台歯間の方向の切り替えに用いるインターロックの一種。ポンティック部で切り替えることから、特に強度と固定を必要とするためスクリューを用いる。

"Dual Post and screw" is one type of interlock system to connect non parallel abutment teeth. The screw is necessary to strengthen and stabilize the pontic area.



# 和

& Porcelain  
GOLD ALLOY

INVISIBLE METAL COLLAR TECHNIC





ACQUIRE  
PARA EPITHELIAL ATTACHMENT





### 未曾有の国難「東日本大震災」に向かって

平成 23 年 3 月 11 日、東北を中心とした東日本が大震災に見舞われた。大地震と巨大津波に襲われて不幸にもお亡くなりになられた方がたのご冥福をお祈りいたします。そして震災だけでなく、あるうことが放射能の回避などのために避難され不自由を強いられている多くの人びとに対して、心からお見舞い申し上げます。

その都度思い知らされる「災害列島」日本の宿命——、度重なる台風や豪雪、そして大地震が襲う日本列島。でも、それが稀に見る美しい自然と多様な生態系をこの列島にもたらした。過酷ではあるが豊かな風土の中で生きてきた先祖が、世界の中において特異な文化としての「和の文化」「奥州の文化」「大和文化」「ジャポニスム」(Japonisme)を生み出すこととなり、それが日本人となった。何度踏みつぶされても絶望の淵からも立ち上がる不屈の精神や、そこから新しい価値観を創造するたくましい生き方が今日の日本を作った。その流れは、われわれの「日本歯科技工」の中にも脈々と流れていると確信している。

今、目の前にある事実は、一地域の災害のレベルをはるかに超え、すべての国民が背負ってゆかなければならない国難であると思う。阪神淡路大震災のときより時間はかかるかもしれないが、国を挙げて辛抱強く復興に進んでいく心を共に持ち続けたい。その先にはきっと、太古より祖先が何度も経験した「生まれかわる日本」が待っているのではないかと思いたい。

歯科補綴は人工物を積極的に取り入れるという独自の進化をたどってきた。それ故に、補綴家には人工物に用いる素材に対する深い思い入れが求められた。近年の CAD/CAM、ジルコニア（酸化ジルコニウム）の登場は、筆者に金属に対する価値観を変えさせるきっかけを与えてくれた。すなわち、金属とは本来柔らかいものであり、暖かみのある素材であること。その、しなやかで、かつ強靱でありながら高い加工性を持つ素材が、これからも多様な歯科補綴を支えていくであろうこと——、加工するわれわれ歯科技工士には、いずれの素材を用いるにせよ、多くの価値を創造するために技術の継承とさらなる進歩が求められているように思えてならない。これが、筆者の提唱する「Japan Craft」の思想の一つなのである。

Prosthodontics has been making positive synthetic materials for long time. It is therefore necessary for prosthodontics to understand these materials well, and to become familiar with them. Recently, the advents of CAC/CAM and zirconium have changed my perception of metal. Metal is basically a ductile, malleable material, which is supple and strong, and easy to use. In future, it will continue to be an invaluable material for prosthodontics. As dental technicians, we have to evaluate all kinds of materials and think carefully about the succession of advances in technique. This is one of the principle of "Japan Craft".

### 重村 宏 大阪府大阪市開業、歯科技工士

Japan Craft/JPI 講師、日本顎咬合学会会員、日本口腔インプラント学会会員  
国際歯科技工学術大会 1998 年、2008 年 招聘講演 URL / <http://www.japancraft-jpi.com/>

#### Shigemura Hiroshi

Dental Technician, Japan Craft/JPI instructor



### 佐藤 政志

秋田県横手市開業、歯科医師

Japan Craft/JPI 講師、  
AAP (American Academy of Periodontology) 会員  
日本顕微鏡歯科研究会評議委員  
URL / <http://www.asamai-shika.com/info/syokai.html>

#### Sato Masashi

Dentist, Japan Craft/JPI instructor



### 杉元 敬弘

京都府京田辺市開業、歯科医師

Japan Craft/JPI 講師、日本顎咬合学会認定医  
日本歯周病学会会員、臨床歯周病学会会員  
URL / <http://sugimoto-dc.jp/>

#### Sugimoto Norihiro

Dentist, Japan Craft/JPI instructor

- dexterous -